

産学共創による輝く次世代の地域人材育成システム推進事業

現状・課題

【自治体】

- 前事業の成果等の普及
- 産業界からの要望等が様々な窓口寄せられ、対応に苦慮
- 専門高校の定員充足率の低下

【専門高校】

- 企業等と連携した教育活動が属人化しており、連携が一部企業にとどまっている
- 企業や大学等との連携手段がない
- 新しい技術についての指導の困難さ

【産業界】

- 人材確保
- 産業(企業)に対する理解促進
- 出前授業や就業体験、共同プロジェクト等の提案先

県全体での産業界と教育界の連携の持続的仕組みづくりが必要

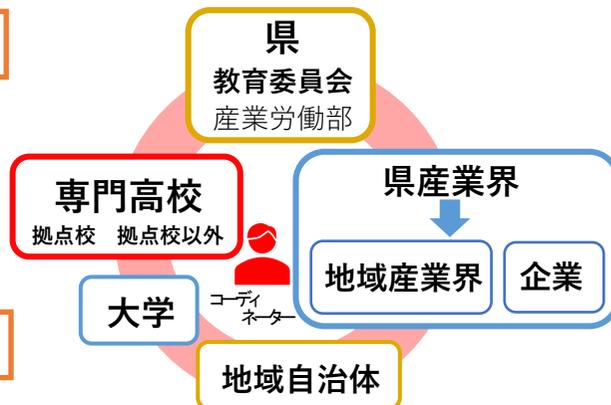
実施内容

県が高校と産業界等をつなぐ

- 県、産業界、大学で事業運営委員会を発足
- 委員会に属する産業界の団体等を通じて、域内全域の企業等が専門高校と連携できる体制を構築

産学連携コーディネーターが支援

- 学校は、産学連携コーディネーターを中心に、地域産業界、地域自治体、大学等と連携し、教育活動を計画・実施
- 学校ごとに連携体制を確立
- 企業・学校間連携の教育活動を推進



小中学校との連携強化

- 高校が小中学校の探究学習を支援
- 専門学科による出前授業
- 高校生とともに企業見学に参加

2つの拠点校の利点を生かした事業展開

【拠点校1】福井県立坂井高等学校（農業-工業-商業-家庭）

- 前回事業にて発足した「坂井高校コンソーシアム」を活用した様々な教育活動を展開
- CEOによるコーディネートのノウハウや成功事例を域内の専門高校に共有 等

【拠点校2】福井県立武生商工高等学校（工業・商業）

- 産学連携コーディネーターの育成と活用
- 地域産業や先端技術を取り入れ、産業界と連携したカリキュラムの改善や体系的教育活動の実施 等
- 専門高校のモデルとなる取り組みを他校へ発信・共有

拠点校以外の専門高校へ普及

- 産学連携コーディネーターと同等の人材の支援を受け、産業界と連携したカリキュラムの改善や体系的教育活動を実施
- 域内の同一学科や他学科間での探究的な活動等の展開

目的

【自治体】 【専門高校】	拠点校を中心にすべての専門高校が複数産業界と連携体制を確立する	すべての専門高校が学科に関係のある産業分野とつながりをもつ	学科に関連した産業界のスキルマップやキャリアパスを策定する
【専門高校】 【産業界】	地域産業ニーズに合致した実践的なカリキュラムの開発・改善や共同プロジェクト等に取り組める	すべての専門高校が要望に応じた出前授業や企業見学、インターンシップを実施でき、実践的なスキルを育成できる	職種に合わせたスキルや知識を明確化したものを中高で共有し、教育活動や進路選択に活用する

地域人材育成・確保

専門高校の魅力向上

